

つ



つ

つばきさ
椿咲く

かまくらこどう
鎌倉古道の

いま
今むかし

かまくらこどう
鎌倉古道

鎌倉古道といわれる道は、今から約八百年前、源頼朝によって開かれた鎌倉幕府の所在地、鎌倉へ全国から通じていた主要道路や、これに接続する道路のことで、県内でも各所に残っています。

この道は八王子から始まり、市内では座間キャンプの中から大ケヤキ、星谷寺裏を通り、皆原、羽根沢を経て海老名市へ続き、藤沢市の北部に至ります。

今でも入谷地域の星谷寺裏や根下の崖上では木立ちが繁り、古道の面影を残しています。

つ